

1. 仙台市議選での介護保険研究会会員の奮闘

①会員全員当選！⇒会員に感謝

◇8月2日（日）任期満了による仙台市議会議員選挙の投開票が行われ、未明には全候補者の当落が確定しました⇒介護保険研究会の会員は猛暑の中激烈な選挙戦を戦い抜き全員が当選を勝ち得ました⇒応援を頂きました会員の皆様には御礼を申し上げます。

◇当選された研究会の先生方には、引き続き私達高齢者福祉・介護団体と連携され、介護保険の改善の取組みを支援して頂くようお願い申し上げます。

②会員の選挙結果

- ◆鈴木代表（太白・無） 4,823票（7位／15） ◆安孫子市議（泉・民） 6,423票（2位／14）
- ◆嶋中市議（青葉・公） 5,259票（9位／16） ◆橋本市議（泉・自） 5,643票（4位／14）
- ◆佐々木市議（宮城野・公） 4,325票（5位／13） ◆菊地市議（若林・自） 5,417票（2位／8）
- ◆跡部事務局長（青葉・自） 4,944票（12位／16）

③仙台市議選の結果と民意の動向

○今回の仙台市議選はすべてのマスコミの世論調査で安倍政権の内閣支持率が急降下し、不支持が支持を上回る状況下での初めての大型選挙であり、内閣支持率低下による選挙戦への影響が注目されていました。

○投票率は36%と過去最低となり、自民党を含め組織政党が優位と予想されていましたが、民主党・公明党が議席を伸ばし、共産党が3の区でトップ当選する等野党が躍進し、一方自民党は公認当選が前回から2名減となる等、違憲で拙速との国民の民意を無視して安保戦争法制を強引に進める安倍政権の政治手法への厳しい評価が影響したものと受け止められており、選挙戦中の埼玉県知事選、引き続き小沢王国の岩手県知事選、宮城県議選、参議院岩手補選等への影響が俄然注目されるとのこと（日経・東京等各紙）。

○選挙結果⇒（ ）は前回当選者数

- ◆自民：16人（18人） ◆民主：9人（7人） ◆公明：9人（8人）
- ◆共産：7人（7人） ◇社民：5人（5人） ◇維新：1人（0）
- ◆無所属8人（6人） ◆落選（自民2・社民1・旧みんな3・無所属4）

2. 宮城県議選でのご支援を！

10月25日（日）投開票の宮城県議選には、介護保険研究会の菅間進代表を始めとする5名の会員が立候補されますので、会員の皆様の引続きのご支援をお願い致します。

- ◆菅間代表（青葉・無） ◆本多県議（若林・社） ◆岸田県議（太白・社）
- ◆庄子県議（宮城野・公） ◆外崎県議（泉・自）

3. 介護保険意見交換会の開催

9月1日（火）に高齢者介護団体と市議会・県議会の介護保険研究会会員との「介護保険意見交換会」を「ハーネル仙台」で開催することとし、4月からの「大幅な報酬引下げのサービス事業所・施設の収支への影響」、8月からの「2割負担の利用者・事業者への影響」等について、市議会・県議会を通じた政府への意見書採択も視野に熱心な議論を行うこととしています。⇒議論の経過や対応方針は別途速報で会員の皆様に周知します⇒乞うご期待を！

□仙台介護サービスネットワーク事務局

【アースサポート仙台内】 ☎：022-215-2391

■文責・問合せ⇒事務局長（田口）

FAX：045-878-3067 ☎：080-4517-7107